

本科 1 期 5 月度

解答

Z 会東大進学教室

高 1 難関大英語 S

高 1 難関大英語



4章 時制2

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) 私はすでに手紙を投函した。
- (2) 私はちょうど昼食を食べたところだ。
- (3) 中国に行ったことがありますか。
- (4) あなたのお母さんはどのくらい入院していますか。

■ 確認問題 2

解答

- (1) When Jane got to [arrived at] the party, Ken had already gone home.
- (2) We had lived in Boston for eight years before we came to Tokyo.
- (3) I soon realized [found] that I'd made a mistake.

■ 確認問題 3

解答

- (1) The game will have ended [finished] by 9:30.
- (2) Next year they will have been married for 30 years.

問題

【1】

解答・解説

- (1) Did you like, liked, quarreled, fired, were you, was
A : 前の仕事は気に入っていたんですか。
B : 最初は気に入っていたのですが、社長と口論になって解雇されたのです。
A : そこにはどれくらいの期間いたのですか。
B : 2週間いました。
- (2) did you see (いつ彼女に会ったの。)
- (3) have been (その月の始めから私たちはここにいる。) 現在完了「継続」。
- (4) have passed (彼女がここ東京に住むようになってから2年経った。) 現在完了「完了」。
= She has lived here in Tokyo for two years. : 現在完了「継続」。
- (5) have been (私たちは結婚して3年になる。) 現在完了「継続」。
= It is [has been] three years since we got married.
= Three years have passed since we got married. : 現在完了「完了」。
- (6) last wrote (私は最後に彼に手紙を書いたのはいつか思い出すことができない。) : 疑問詞 when や明らかに過去を表す副詞 last は現在完了と併用できない。
- (7) left (彼は2日前に出発した。) : ago は過去形の場合に用いる。
- (8) have finished (その本を読み終わったら私に貸してくれませんか。) : 時を表す副詞節の中の未来完了の事柄は現在完了形で代用する (単純未来の will は用いない)。finish はそれ自体に「完了」の意味を含むので、現在形 finish でも可。
- (9) had lost (私は家に着いた時、時計をなくしてしまったことに気がついた。) : 過去完了「大過去」。「時計をなくした」のは「それに気づいた」時より前の出来事。
- (10) before (彼は3日前にここに到着したと言った。) : 過去完了「時制の一致」。過去完了では before を用いる。
- (11) will have gone (あなたがやって来る頃には私の父は出張に出かけてしまっているだろう。) 未来完了。
○ by the time 「…する頃には」
- (12) had gone (オフィスを出たのは私が最後だった。他の人たちはみんな帰ってしまっていた。) 過去完了。

【2】

解答・解説

- (1) passed since (彼は1年間その組合に所属している。)
○ a member of ~ 「～の一員」
○ society 「組合」
- (2) (b) been dead for (c) since, died (d) passed since, died (彼が死んで5年になる〔が経つ〕。)

○ dead *adj.* 「死んでいる」 ↔ alive [living] 「生きている」

(3) most wonderful, ever seen (私はそのような素晴らしい景色を見たことがない。) 現在完了「経験」。

(4) has lost (ジェーンは自分の時計をなくして、今持っていない。) 現在完了「結果」。

(5) had bought me (私は叔母が買ってくれた新しい車が好きになった。) 過去完了 (大過去)。

○ come to *do* 「…するようになる」

【3】

解答・解説

(1) A : Have you ever heard Singaporean English?

B : No, I haven't (heard it yet).

別解

A : Have you ever heard a Singaporean speak English?

B : No, I haven't.

(2) I will have cleaned up the room by the time you come back.

(3) It is [has been] five years since I moved to this city.

別解 Five years have passed since I moved to this city.

(4) John came back earlier than I had expected.

(5) He arrived after you (had) left.

【4】

解答

和訳問題の解答は「全訳」下線部(1), (3), (4)参照。

(2)の英訳 I had never used chopsticks before I came to Japan : 過去完了 (過去のある時点までの経験)。

解説

(1) I had eaten fish, but seldom more often than once a week. : 過去完了「経験」。

○ seldom 「めったに…ない」 (= rarely)

○ once a week 「週に1度」 a は「～につき」の意味で使用されている。

e.g. three times a day (1日に3回)

(3) I have learned only how to use a knife, fork, and spoon. : 現在完了「結果」。

○ how to use = the way I use (how to *do* 「…する方法」)

(4) It seems impossible to pick up Japanese rice and get it up to my mouth without dropping it.

○ it seems C to *do* : S V C。形式主語の it。

○ pick up ~ 「～を取り上げる, 拾い上げる」

○ get it up to my mouth = get up Japanese rice to my mouth

○ get up ~ to … 「～を…に運び上げる, 近づける」

○ drop ～ 「～を落とす」

全訳

日本の食べ物はロサンゼルスでは非常に人気がある。私は日本に来る前に日本の食べ物を食べたことがあった。(1)私は魚を食べたことはあったが、1週間に1度より多く食べることは減多になかった。山の湖へ釣りの旅に出かけるような大変まれな機会にだけ、私たちは朝食に魚を食べた。日本人はほとんど毎食魚を食べるように思われる。私はアメリカで米を食べたことがあったが、日本の米とは違ったものだった。それにはたいていソースと肉が入っていた。私は日本に来る前に箸を使ったことがなかった。日本人は幼い子供の時から箸を使う。(3)私はナイフとフォークとスプーンの使い方しか身につけていない。(4)日本の米を(箸で)取り上げて落とさずに口に持っていくことは不可能のように思われる。私が最終的に箸を使うことができるようになるまでにはひょっとしたら多くの練習が必要かもしれない。

注

ℓ. 3 ◇ such as 「～のような」

◇ for breakfast 「朝食に」 < for = as 「～として」

ℓ. 4 ◇ seem to do 「…するよう思われる」

◇ almost *adv.* 「ほとんど」 副詞で every (形容詞) を修飾する。

ℓ. 5 ◇ mix A with B 「AとBを混ぜる」

ℓ. 9 ◇ it will take a lot of practice 「多くの練習を必要とするだろう」

◇ before I am finally able to use chopsticks. : 時を表す副詞節では、未来の事柄は現在形で代用する。

【5】

解答・解説

(1) have lost, Have you seen, haven't, did you last wear, wore, left

「黒い手袋をなくしちゃった。どこかで見ていない？」

「いいえ、残念ながら見ていないわ。最後に手袋をはめていたのはいつ？」

「昨日の夜劇場にいた時は、はめていたわ。」

「ひょっとしてそこに置いてきたのでは。」

○ perhaps 「ひょっとしたら」 (可能性は低い)

cf. probably 「たぶん」 (可能性は高い)

(2) has just left, has been, has never bought

「たった今店を出ていった婦人を知っていますか。」

「ええ、Thrift さんですよ。」

「あなた方の常連さんですか。」

「いいえ、お客さんというのとはちょっと違いますね。数回ここにいらっしゃったけれど、これまで買い物をしたことは1度もありません。」

just に関しては、アメリカ英語 (米) とイギリス英語 (英) で用法が異なっている。just (たった今) は現在完了形、just now (つい今しがた) は過去形と共に用いるのが原則であるが、(米) では just を過去形と共に用いることがある。

- (3) Did you hear, did, did you think

「昨晚ラジオで彼の演説を聞きましたか。」

「ええ聞きました。」

「その時、どう思いました？」

○明らかに過去を明示する語句 last (night) があるので過去時制である。

○ What did you think of it? ≡ How did you feel about it? (どう思いましたか。)

- (4) have just been, Have you seen, haven't, haven't read, read, was, did Tolstoy write, wrote

「たった今、『戦争と平和』という映画を見に行ってきたわ。あなたは見た？」

「いいえ、見ていないわ。本の内容とは似ていた？」

「私は本は読んでいないの。」

「私は学生の時に読んだわ。」

「トルストイはそれをいつ書いたの？」

「1868年に書いたのよ。」

- (5) have you been, have been, Did he take, did, Did it hurt

「どこに行ってたの？」

「歯医者よ。」

「虫歯を抜いたの？」

「ええ、そうよ。」

「痛かった？」

「ええ。とっても。」

2行目に (be) to とあるので2行目は have been to ~ (～へ行ってきたところだ) の形にする。これに合わせて冒頭の文も Where have you been? (どこへ行っていたの?) と現在完了にする。

- (6) have just received [just received], haven't paid [hadn't paid] (前 で have just received を用いた場合は両方可能だが, just received を用いた場合は, hadn't paid のみが可), Didn't I give, did, spent

「たった今、私たちがこの四半期の電気料金を払っていないっていう手紙を受け取ったわ。先週そのお金、あなたに渡さなかった？」

「うん、もらったよ。でも言いにくいんだけど、他のものに使ってしまったんだ。」

- (7) have cut, did it happen, slipped

「かなりひどく手を切ってしまいました。包帯を持っていない？」

「今持ってくるわ。どうしたの。」

「木を切っていたら斧が滑ったのです。」

Do you have a bandage? と言っているのだから、発話の直前に手を切っておそらく血が出ているのであろう。したがって第1文は現在完了形である。あとは一連の過去の出来事として過去形で処理する。

添削課題

【1】

解答・解説

- (1) were : 過去のある時点を表す。
- (2) has read [reads] : 時を表す副詞節の中では単純未来の will は用いない。
- (3) had been : 過去完了「継続」。
 - actor ↔ actress
 - statesman = politician
- (4) had never heard (昨日まで私はそのことについて聞いたことがなかった。) : 過去完了 (過去のある時点までの経験)。
- (5) had visited : 時制の一致による過去完了 (ago は before になる)。
- (6) will have done : 未来完了。
 - do the dishes 「皿を洗う」
- (7) have lived [have been living] : 現在完了「継続」。
- (8) will have lived : 未来完了。

【2】

解答・解説

- (1) (My) nephew has been married for five years.
 - 「私の甥は5年間ずっと結婚している状態だ。」と考える。
 - 「結婚している」→ be married (married は形容詞で「結婚している」)
- (2) (Five) years have passed since my nephew got married.
 - 「私の甥が結婚してから5年が過ぎたところだ。」と考える。
 - 「結婚する」→ get married
- (3) (It) is [has been] five years since my nephew got married.

5章 時制3

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) Joe is never satisfied. He's always complaining.
- (2) The water is boiling. Could you turn it off?
- (3) I'm not working tomorrow, so we can go somewhere.

■ 確認問題 2

解答

順に記載

has continued : since leaving school 「学校を卒業して以来」とあり、動作の「継続」を表す。現在完了にする。主語は Ken である。

belongs : 「～に所属している」という現在の「状態」を表す。一般的には進行形は不可。主語は He (= Ken) である。

has : 主語は his team で this year とあるので、3 人称単数現在形にする。

is jogging : this month における一時的な現在の習慣的行為を表す。

intends : 主語は he で、文脈から現在のことを言っている。intend to do (…するつもりでいる) は状態を表すので、一般的には進行形は不可。

is : until 以下は「時」を表す副詞節なので、未来の事柄は現在形で代用する。

■ 確認問題 3

解答

He was taking a bath when the telephone rang.

■ 確認問題 4

解答

- (1) 明日の今頃は、私たちは野球の練習をしているだろう。
- (2) 今日、ジョーに会います。私たちは同じ会社で働いています。

■ 確認問題 5

解答

- (1) マリアは2年間英語の勉強をしている。
- (2) ジョーは2年前にコーヒーを飲むことをやめた。彼はそれまでの20年間コーヒーを飲み続けていた。

■ 確認問題 6

解答

- (1) He said on the phone that he would come to see me soon.
- (2) The teacher told me that I might go home.

■ 確認問題 7

解答

Columbus proved that the world [earth] is round.

問題

【1】

解答・解説

A

- (1) are you walking, walk, am hurrying, am meeting, doesn't like

A：どうして今日はそんなに速く歩いているの。普段はゆっくり歩いているのに。

B：急いでいるのは、3時に父と会うことになっていて、その父が待たされるのが好きじゃないからなんだ。

- (2) was snowing, woke, remembered, was coming, decided, lost

「彼が目覚めると、激しく雪が降っていた。彼は、いとこのジョンが昼食にやってくることを思い出し、ジョンがこの雪道で道に迷うといけいないのでバス停まで出迎えに行くことにした。」

○ in case ～「～だといけいないから；～に備えて」

○ lane 「小道；路地」

B

has been, has been looking, hasn't found 「ジェーンは4年間秘書として働いてきた。最近もつといい職を探しているのだが、これまでのところまったく見つかっていない。」

【2】

解答・解説

- (1) be flying 「明日の今頃は太平洋の上を飛んでいるでしょう。」

未来進行形（未来における進行中の動作）。

- (2) have been reading 「まだその本を読み終わってないのか。君は1週間以上もそれを読んでいるよ。」

現在完了進行形（1週間以上継続してる動作を表す）。

- (3) had been 「彼はその時まで長く待っていたようだった。」

過去完了進行形（過去のある時点までの継続していた状態）。

- (4) have 「あなたに尋ねたいことがある。」

have は状態動詞。I am having breakfast.（動作）ならば可。

- (5) are you thinking 「あなたはとても物静かだ。何を考えているんだい？」

think は心の動きを表す動詞であるが、今一時的に「考えている」という意味を含む場合は進行形にする。

- (6) resembles, her father 「ナンシーはお父さんに似ている。」

resemble は状態動詞で進行形にならず、他動詞なので直後に目的語をとる。

- (7) listening to 「私はラジオを聞いていた。」

hear は「自然に聞こえてくる」という意味を含み、意志によって左右できない知覚動詞で進行形にならない。

【3】

解答・解説

- (1) would come
will come が said を受けて助動詞が過去形になる。
- (2) had been
過去のある時点 (wondered) までの状態の継続を表す過去完了。
- (3) must
助動詞 must は時制の一致を受けない。
- (4) gets [got]
現在の習慣は時制の一致を適用しなくてもよい。
- (5) discovered
歴史的事実は常に過去形で、時制の一致を適用しない。
- (6) is [was]
格言は時制の一致を適用しなくてもよい。

【4】

解答・解説

- (1) She has been working for this company for ten years.
別解 She has been with this company for ten years.
- (2) Our son is always answering back.
別解 Our son is always talking back.
- (3) They will be waiting for you at the airport.
- (4) It has been raining on and off [off and on] since this morning.
○ on and off [off and on] 「時々、断続的に」
- (5) The beautiful church stands on the hill.

【5】

解答・解説

- (1)
 - (a) ア: belong は状態動詞で進行形にならない。
○ belong to ~ 「～に所属している；～のものである」
 - (b) ア: 文末に ago があるので過去形となる。
 - (c) ア: 時を表す副詞節の中の未来の事柄は現在形で代用する。単純未来の will は用いない。
- (2) 「全訳」下線部(1)～(5)参照。
 - (1) 現在進行形 (現在進行中の行為)。
○ scare ~ 「～を恐がらせる」
cf. scarecrow 「かし」 (直訳は「カラスを恐がらすもの」)
 - (2) 現在完了進行形 (現在に至るまで継続していた行為)。
 - (3) 過去完了進行形 (過去のある時点まで継続していた行為)。

○ out 「外にいる；不在」

(4) ○ too ～ for O to do 「非常に～なのでOが…できない；Oが…できないほど非常に～だ」

○ get down 「降りる」

(5) 過去完了進行形（過去のある時点まで継続していた行為）。

○ …, when ～ 「…したらその時～」：when の前にコンマがある場合、「～する時」とは意味が異なることが多いので注意。「…」に継続して「～」が起きている。

全訳

ディックとキムはコッド岬にある古い家に滞在している。それはディックの叔父のもので、彼らはその週末の間そこを借りている。金曜日の夜である。彼らは1, 2時間前に到着し、1階の居間の暖炉の火の前に座っている。季節は1月で、外では冷たい風が吹いている。

キム　　：ねえ、ディック、この家は素敵だ。僕は古い家は大好きだよ。

ディック：ここには幽霊がいるんだよ。

キム　　：何だって？　ばかなことを言うものじゃない。(1)僕を恐がらせようとしているの？

ディック：いいや、本当さ。(2)僕は何年もここに来ているんだ。僕が子供の頃は僕らはここに滞在したものだ。この僕が1度幽霊を見たことがあるんだ。

キム　　：とてもおかしいよ、ディック。僕は幽霊の存在を信じていない。

ディック：信じていないのか？　僕は信じている。

キム　　：どこで幽霊を見たんだい？

ディック：2階で—— 寝室だよ。

キム　　：ははー。幽霊は頭に白い布をかぶっていた？

ディック：いいや。まさによくある幽霊だったよ。彼は1800年代に由来するような服を着ていた。

キム　　：彼だって？　誰のことだい？

ディック：幽霊だよ。そのことを君に話してあげよう。(3)僕は1日中外で自転車に乗っていて、本当に疲れていたんだ。だから早く寝た。

キム　　：お酒を飲んでいたの？

ディック：いいや、違うよ。

キム　　：ええと、話を続けて。何が起こったの？

ディック：僕は2, 3時間寝ていた…。

キム　　：どうしてそれが2, 3時間だとわかったの？

ディック：寝室に古い大型箱入り時計があるんだ。2階に上がれば、わかるよ。とにかく、男がその時計のそばに立っていたんだ。

キム　　：どんな男だい？

ディック：もちろん、幽霊だよ。

キム　　：君は何をしたの？

ディック：何もしなかった。

キム　　：彼はなんて言ったの？

ディック：何も言わなかった。ただ僕をじっと見ていた。

キム　　：幽霊はどうやってその部屋に入ったの？　ドアに鍵をかけていなかったの？

ディック：かけていたよ —— 窓にもね。今夜みたいに寒くて、霧の立ち込めた夜だった。

キム：暖炉はあったの？

ディック：うん。でも(4)とても小さくて人が入って降りて来ることはできなかった。とにかく、
暖炉の火はあったよ。

キム：君は何をしたの？

ディック：起き上がって、幽霊をじっと見返した。僕はとてもびっくりしていて動けなかった。

キム：それで？ 何が起こったの？

ディック：(5)どれくらいの時間お互いにじっと見つめ合っていたのかは分からないけれど、僕
が突然恐怖を感じて叫ぶと彼は消えた。

キム：信じられないよ。

ディック：僕だって信じられなかった —— その時はね —— けれど僕がここの近所に住んで
いる人たちに話した時、彼らは僕の話信じてくれた。彼らの中にも自身が幽霊を見た
ことがあった人がいた。彼らは幽霊の描写だってできるかもしれない。もし君が彼らに
尋ねたら、それがどんなだったか教えてくれるだろう。

キム：ディック、暖炉の火にもっと薪を入れて。僕は今夜ここで眠るよ。

注

- ℓ. 3 ○ a fire 「火、暖炉 (= fireplace) の火、火事」
- ℓ. 6 ○ you know : 文頭・文中・文尾に置いて表現を和らげたり、相手の同意を求めたりするのに用いられる。
- ℓ. 7 ○ silly 「ばかげた；愚かな」
- ℓ. 8 ○ used to do 「…したものだだった」 現在との対比で用いる過去の習慣的行為・状態。
- ℓ. 9 ○ myself : 再帰代名詞の強調用法。主語・補語・目的語などの(代)名詞を同格に用いて、その意味を強める用法。原則として強める語の直後に置かれるが、誤解が生じるおそれのない場合は位置は自由である。ℓ.42 myself と ℓ.43 themselves も同様。
- ℓ.10 ○ believe in ～ 「～の存在を信じる」
- ℓ.15 ○ clothes 「衣服」複数扱い。 cf. clothe ～ (～に衣服を着せる), cloth (布)
○ the 1800's 「1800 年代」
- ℓ.21 ○ go on 「続ける」後に talking の省略がある (= continue …ing [to do])。
- ℓ.25 ○ upstairs 「階上へ [で]」〔副詞なので、× go to upstairs は不可。〕
○ anyway 「①とにかく；②どのようにしても」
- ℓ.31 ○ stare at ～ 「～をじっと見つめる、凝視する」
- ℓ.42 ○ at the [that] time 「その時には」
- ℓ.44 ○ could 「～かもしれない」 現在時における推量を表す。
○ describe ～ 「～を言葉で言い表す」他動詞なので、× describe about him。

【6】

解答・解説

- (1) ア「彼は来ないかもしれないが、彼が来た場合に我々は備えておこう。」
「条件」を表す副詞節中では、未来の事柄は現在形で代用する。but の前の節の述語動詞と同じ comes となるので、does で代用する。
○ in case ～「～の場合は；～に備えて」
- (2) イ「彼は7時頃ここに来ると私に言った。とにかく、彼が来たら君に教えてあげよう。」
「時」を表す副詞節では、未来の事柄は現在形で代用する。
- (3) ア「ブラウン一家が家に着く頃には、トンプソンさんは食事の準備をできてしまっているだろう。」
「時」を表す副詞節なので、未来の事柄を表すのに現在形で代用する。主語が the Browns と複数なので、I は不可。また、home は副詞であるから、I は to が不要。
○ by the time ～「～する時まで、～する頃には」
- (4) イ「その部屋がきちんと掃除されるまで、私は部屋に入らない。」
until 以下は「時」を表す副詞節なので、未来完了の事柄は、現在完了形で代用する。it = the room なので受動態になる。また clearly は「はっきりと、明らかに」という意味で、この文脈には合わない。
○ properly 「きちんと、厳密に、完全に」
- (5) ウ「電話が鳴った時、私はシャワーを浴びていた。」
過去進行形。過去のある時点における進行中の動作を表す。
- (6) エ「彼らの一人息子が死んでから3年になる。」
= Three years have passed since their only son died.
= It is [has been] three years since their only son died.
「期間」を表すには for を用いるが、for these three years はやや古めかしく、現在では these three years,あるいは for the last [past] three years のような言い方が普通。
- (7) ア「台所の床一面にミルクがこぼれている。なぜなら、妻が牛乳びんを割ってしまったからである。」
「結果」を表す現在完了。
- (8) ウ「私は以前そこへ行ったことがあるが、また行ってもよいと思っている。」
「経験」を表す現在完了。have been to ～ は「～へ行ったことがある」の意味。there は副詞なのでここでは to は不要。
○ mind …ing 「…することを気にする〔嫌がる〕」
- (9) イ「バルト海にある諸港は徐々に浅くなっていたことを水夫たちはずっと知っていた。」
know の目的語である that 節が were getting と過去進行形になっていて、その動作の進行の期間、水夫たちはそのことを知っていたという意味なので、過去完了形にする。
○ the Baltic Sea 「バルト海」スカンジナビア半島とヨーロッパ本土との間の海。
○ shallower < shallow 「浅い」
- (10) エ「来月でジョンとメアリーは15年間日本に居ることになる。」
未来のある時点までの状態の「継続」を表す未来完了。

添削課題

【1】

解答・解説

- (1) contains (このビールは5パーセントのアルコールを含んでいる。)
contain は「～を含んでいる」という意味の状態動詞なので、普通、進行形にはしない。
また、is contained という受動態は意味が通じない。
- (2) is leaving (私のいとこは今度の月曜にロンドンをたつ予定だ。)
「往来・発着」の動詞 (leave, start, arrive, go, come など) は近い未来の予定を示すために使われる。
○ arrive in [at] ～ 「～に着く」
○ start from ～ 「～を出発する」
- (3) had been (彼女が本を読み始めてから2時間たった時に、彼が入ってきた。)
過去のある時までの動作の継続は過去完了進行形で表す。
- (4) have known (ジョンとメアリーは1996年以来の知り合いだ。)
状態を表す know は(完了)進行形にはできない。

【2】

解答

- A : (1)会議が終わったら飛行機で帰るのですか。
- B : (2)いいえ、今回は列車を利用するんです。飛行機はすべて満席なんです。
- A : それはお気の毒に。列車となると長旅ですね。
- B : ええ、でも読む本を買っておきましたので。

【3】

解答

私がドアを開けると、彼が部屋の外でひざをついていた。彼が鍵穴からずっとのぞいていたことはわかっていた。